

読書推進運動



公益社団法人
読書推進運動協議会

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-32
出版クラブビル6階
TEL 03(5244)5270
FAX 03(5244)5271
発行人 小塚 昌弘
編集人 片岡 伸子

No.639

★伊藤忠記念財団子ども文庫助成先決定(2・3頁)

定価60円
会員の購読料は
会費の中に含まれる



「つぎの10年」をより豊かに

大阪国際児童文学振興財団 移転10周年

一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団理事長

みやかわたけお
宮川健郎

大阪国際児童文学振興財団は、かつては、大阪府立国際児童文学館の運営母体でした。

2010年3月、吹田市万博公園内にあった大阪府立国際児童文学館が廃止されました。国際児童文学館の資料は、東大阪市の府立中央図書館に移動し、同年5月、同図書館内に新たに国際児童文学館がオープンしました。図書館とは別の入口のあるスペースで、資料は、そこで引きつづき閲覧できます。私どもの大阪国際児童文学振興財団も、同年4月に、やはり同図書館内に事務所を移して、新・国際児童文学館を支援してともに資料収集にあたり、研究および国際的な活動を継続しています。

大阪府立中央図書館国際児童文学館(新・国際児童文学館)は、移転時は約70万点だった資料が現在は約83万点にふえています。これは、世界屈指の児童文学コレクションだといえます。日本児童図書出版協会の会員各社など数多くの出版社から新刊の寄贈を受けています。

降の歴史的資料をもとに共同研究を行うなど)をすすめています。

大阪国際児童文学振興財団のモットーは、「子どもの本と文化を、子どもの未来のために」。国際児童文学館の資料を生かす仕事(寄贈された新刊すべてに財団の総括専門員研究職が目をおし、さまざまなかたちで紹介する、資料の展示会の企画に協力するなど)や、資料を研究する仕事(国の科学研究費助成をうけて、明治時代以

世界の児童文学研究者を顕彰する「国際グリム賞」や、一般公募のコンクール「日産童話と絵本のグランプリ」そのほかの財団独自事業も積極的に展開しています。

移転、再スタートから10周年をむかえた今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われました。しかし、この状況のなかで、「ことば」「想像」「コミュニケーション」など、あらゆる視点で子どもの本の意義が見直されていることも事実です。財団は、10周年記念のオンラインフォーラム「子どもの本の現在(いま)と未来(これから)」を配信したり、「YouTube版

本の海大冒険」(新刊紹介)を発信したり、子どもの本に関心を持つみなさまと新しい手法でつながろうとしています。コロナ禍のなかで、こうした試みが、財団のこれからの可能性を拓くという予想も強めています。

この10年間、大阪国際児童文学振興財団は、成果を積み上げてきましたけれども、経営的にはたいへん危機的です。移転前までの国際児童文学館の運営委託費がゼロになったため、組織を大はばに縮小して、かつての寄付金を取り崩しながら現在にいたっています。移転10周年の機会に、財団の活動をより豊かに展開する「新しい10年」の創造のために、現在、広く寄付を募っています。目標額は500万円。どうぞ、よろしくご支援ください。

●一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団への寄付詳細は、http://www.iiclo.or.jp/donation_10th.htmlをご覧ください。

〈2020年度〉

伊藤忠記念財団
子ども文庫助成事業
助成贈呈先決定

公益社団法人読書推進運動協

議会在公益財団法人伊藤忠記念財団から委託を受け、募集および応募受付などを行っている「子ども文庫助成事業」の2020年度助成贈呈先が決定しました(計89件)。

本年度の応募件数は、子どもの本購入費助成83件、子どもの本100冊助成40件の計123件(病院・施設子ども読書活動費助成含む)。

この助成事業は、伊藤忠記念財団が子ども読書について啓発、指導に関する民間の有益な活動の目的達成のために行っており、今年度で第46回、助成件数は2491件となりました。

伊藤忠記念財団では2021年度も同助成を実施します。2021年度の応募期間は、4月(6月を予定しております)。応募要項は3月、伊藤忠記念財団および読書推進運動協議会ホームページに掲載予定です。送付も承りますので、ご希望の方はお申しつけください。

なお、各道府県読書推進運動協議会、および各都道府県立中央図書館へは例年、読書推進運動協議会より応募要項をお届けしていましたが、昨今の発送状況を鑑み、本年より、当協議会の依頼状を同封したうえで伊藤忠記念財団よりお送りいたします。

また、伊藤忠記念財団では、2021年度より、助成対象の範囲を広げる予定です。応募について詳細は、『読書推進運動』次号にてお知らせいたします。

◆子どもの本購入費助成先一覧(48件)

図書購入費用(児童書、絵本など)および読書啓発活動につながる実演のための購入費用(紙芝居、人形劇、パネルシアターなど)として一律30万円を助成。助成額の半額15万円までを読書啓発に関連する講演会・研修会の開催費や参加費、および備品の購入(書架・ブックコート・フィルムなど書籍管理備品、紙芝居・パネルシアターの舞台など)に使用できます。2020年度より、伊藤忠記念財団が指定する団体からの講師派遣、研修参加に助成金の全額を使用できるプログラムが設けられています。

子どもたちの読書啓発を行っている、民間の文庫や実演団体、連絡会などが対象(営利法人、大規模法人、公共機関などは対象外)。実質的に草の根運動と見なされる個人・団体であること、3年以上の活動歴があり、今後も継続した活動が見込まれることが必要です。

- 北海道 ばらのおうち文庫
- 北海道 たんぼ文庫
- 北海道 みみずく文庫
- 北海道 門田真由美
- 岩手県 おはなしたまで箱
- 岩手県 おはなしちゅーみん
- 宮城県 おはなしサークル
- 「あめんぼの会」
- 栃木県 かの文庫
- 群馬県 かたぐるまぶんこ
- 埼玉県 風渡野文庫
- 埼玉県 おはなしの輪
- 埼玉県 チームひだまり
- 東京都 おはなしボランティア
- 東京都 りんごジュース
- 東京都 NPO法人
- 東京都 おにぎり文庫のたね
- 東京都 このあの文庫
- 東京都 ロールパン文庫
- 東京都 メイフラワー文庫
- 東京都 はらっぱ文庫
- 神奈川県 いぬくら子ども文庫

- 神奈川県 おしぬま子ども文庫
- 神奈川県 こみち文庫
- 神奈川県 一般社団法人 うみやまの
- 富山県 こどもとしよかん
- 富山県 富山森のこども園
- 山梨県 読み聞かせボランティア このはなざくや
- 岐阜県 お話の会『大きな樹』
- 静岡県 人形劇団けろころぼん
- 愛知県 ひいらぎ山の子ども文庫
- 愛知県 ひざぶんこ
- 京都府 桂坂かえて子ども文庫
- 大阪府 おはなしボランティア
- 大阪府 アナンシ
- 大阪府 なかよし文庫
- 大阪府 おはなしかご
- 大阪府 野の花文庫
- 大阪府 熊取文庫連絡協議会
- 奈良県 アトム文庫
- 奈良県 NPO法人
- 鳥取県 わくわくスタディひろば
- 鳥取県 子ども文庫
- 広島県 Pippi & Lotta
- 広島県 家庭文庫ぽてと
- 徳島県 いろり文庫
- 福岡県 とんとんぶんこ
- 福岡県 プーさん文庫
- 長崎県 長崎おはなしの会
- 長崎県 おしゃべりボム
- 長崎県 口之津図書館友の会
- 大分県 おはなしとわらべうた

◆病院・施設子ども読書活動費助成先一覧(15件)

子どもの本購入費助成と同様に、図書購入費用および読書啓発活動につながる実演のための購入費用として一律30万円を助成。障がいを持つ子どもたちに対する読書支援機器などの購入、および、布の絵本や点字絵本などバリアフリー図書作成のための費用も含まれます。こちらも、助成額の半額15万円までを、講習会の開催費や参加費および備品の購入に使用することが出来ます。

病院、障がい児施設、養護施設などの子どもたちに対して、読書啓発活動を行っている民間の団体または個人が対象(営利法人、大規模法人、公共機関などは対象外)。実質的に草の根運動と見なされること、3年以上の活動歴があり、今後も継続した活動が見込まれることが必要です。

- 宮崎県 読み聞かせサークル
- 西都おはなしの部屋
- イギリス まなざし文庫
- オーストラリア スイカ文庫
- オランダ ひまわりの会
- ユトレヒト日本語ブックシニアリング

北海道 公益財団法人

ふぎのとう文庫

北海道 社会福祉法人 常徳会

児童養護施設 興正学園

福島県 社会福祉法人

北中央福祉会

福島県 あゆみ保育園

特定非営利活動法人

ぴいかあぶう

千葉県 おはなしグループ「ゆう」

特定非営利活動法人

絵本カーニバル

神奈川県 横浜市立大学附属病院

小児科おやこの会

さんふらわ

山梨県 特定非営利活動法人

未来への扉

長野県 本と子どもの発達を

考える会

三重県 NPO法人

H A H A H A

島根県 島根大学医学部附属病院

小児センター

広島県 東部子ども家庭センター

読書ボランティア

福岡県 NPO法人 光楽園

熊本県 清田 純子

ベトナム BRIDGING

FOUNDATION

(橋をかける基金)

◆子どもの本100冊 助成先一覧(26件)

京都府 小さな子ども文庫

大阪府 中大阪朝鮮初級学校

学友母会

イギリス バースひだまり文庫

ドイツ 風の子

《小学校低学年向け》12件

宮城県 ブックスフレンド中田

宮城県 みどりがおか文庫

静岡県 あそびとおはなしの森

三重県 お話し会「ピノキオ」

兵庫県 おはなしママ

岡山県 NPO法人

たけやり

子ども発達研究所

広島県 おはなしサークル

にわとりかあさん

山口県 NPO法人あつと

アメリカ アイダホ日本語補習校

アメリカ アーモスト

カナダ 日本語補習校

モントリオール

日本語センター

《小学校高学年向け》3件

東京都 くすくす子どもの本の会

「星の子文庫」

岡山県 シービスケット

ライブラリー

ニュージーランド

ジャパンカウリ

エデュケーション

トラスト

◆子ども文庫功労賞

「子ども文庫助成」プログラムの

ひとつ。子ども文庫を永年(20年

以上)にわたり運営してきた個

人で、子どもの読書啓発活動に貢

献してきた方を顕彰する賞です。

1984年の第1回以来、昨年ま

でに81名に贈られています。

本年の受賞者は、志村妙子さん

(東京都)、古川よし子さん(愛知

県)の2名です。

志村さんは、長年小学校教諭と

して勤務。朝の時間に子どもたち

に対し読み聞かせを行うなど、読

書の楽しさを伝える活動をして

きました。退職後、「語り」と読み

聞かせの連続講座「修了のち、

1984年、町田市の自宅にて「柿

の木文庫」を開設。近隣の幼稚園

や小学校の子どもたちを対象とし

た貸出やおはなし会、乳幼児向け

のおはなし会「かきのたね」など

を行っています。読書啓発活動は

もちろん、お年寄りのためのデイ

サービスなど地域に根差した活動

のためにも文庫を開放するなど、

98歳を迎えた現在も精力的に活動

を続けています。

古川さんは、1976年より埼

玉県入間市にて読み聞かせボラン

ティアをはじめました。1991

年に愛知県大山市に移ってからも

ブックトークなどの活動を通じて、

翌1992年に「どんぐり文庫」

を自宅にて開設。利用する子ども

たち一人ひとりの成長にあわせて

本の紹介や貸出、読み聞かせ、工

作などを実施しています。地域の

図書館や小学校でブックトークや

読み聞かせも行い、次世代ボラン

ティアの人材育成にも講師として

貢献するなど、大山市の読書推進

活動に欠かせない方です。

伊藤忠記念財団では、子ども文

庫助成・子ども文庫功労賞の贈呈

式を新型コロナウイルス感染症の

拡大を受けて延期し、代わりに各

団体へ贈呈状を送付するとしてい

ます。



いっしょによもう、
いっばいよもう

■第55回書店新風賞 贈呈式

書店と読者を元気づけた『ぼくはイ
エローで…』『鬼滅の刃』が受賞

各地域を代表する書店のネット
ワークである書店新風会主催の
「第55回書店新風賞」贈賞式が、
1月6日(水)、東京都千代田区の出
版クラブホールで行われた。

新風賞を受賞したのは、『ブレイ
ディみかこ』『ぼくはイエローでホ
ワイトで、ちよつとブルー』(新
潮社)。

またコミック作品としてはじめ
て、吾峠呼世晴『鬼滅の刃』(集
英社)に特別賞が贈られた。

『ぼくはイエローでホワイトで、
ちよつとブルー』は、イギリスで
暮らす著者が、地元で「元底辺中



受賞者の出版社代表と編集者と
新風会 大垣会長の記念写真

学校」に通う息子の学校生活を描
いた「等身大ノンフィクション」。
2019年6月の発売以来、累計
60万部を超えるロングセラーと
なっている。

コロナ禍のため式に出席できな
かったブレイディ氏は手紙で「発
売した年より、つぎの年のほうが
売れた不思議な本。特異な現象を
起こしてくれたのは全国の書店
員。おかげさまで多くの人に読ま
れた」と感謝の意を表した。

同書はこのほかにも「第13回
神奈川県立図書館員大賞(KO本
大賞)」「埼玉県の高校図書館司
書が選んだイチオシ本 2019
第1位」「第2回 Yahoo! ニュー
ス本屋大賞 ノンフィクション本
大賞」「第73回 毎日出版文化賞
特別賞」「第2回 八重洲本大賞」
などを受賞している。

特別賞の『鬼滅の刃』は累計
1億2000万部、映画の興行収
入が350億超えと一大ブームを
巻き起こし、多くの人が書店に足
を運びつかけになったことが評
価された。

■第36回 梓会出版文化賞

学術出版のオーソドックスとニュー
ウェーブ、対照的な2社が受賞

優れた書籍を発行している出版
社を顕彰する「梓会出版文化賞」。

第36回の今回は、1951年の創
立以来、アカデミズムを背景に
オーソドックスな学術出版を継続
してきた東京大学出版会が受賞し
た。同会は当時の東大総長・南原
繁の発案によって設立され、国立
大学としてははじめての試みだっ
た。学術書・教科書・教養書を中心
に、月刊誌UPも発行している。

同特別賞を受賞したのは、対照
的にまったく新しいタイプの出版
社ゲンロン。批評家・東浩紀氏が
2010年に創業し、思想誌『ゲ
ンロン』や単行本シリーズ『ゲ
ンロン叢書』刊行のほか、「ゲン
ロンカフェ」、友の会運営など、出版
の枠にとらわれない「知のプラッ
トフォーム」として活動している。

また新聞社・通信社の文化部長
が選ぶ「第17回 出版梓会新聞社
が選ぶ」第17回 出版梓会新聞社

■「上野の森親子ブックフェスタ2021」中止のお知らせ

上野の森では開けません……
オンラインイベントを準備中

今年の5月3日(祝)～5日(祝)、東
京都台東区の上野公園周辺で開催

予定の「上野の森親子ブックフェ
スタ2021」について、主催3
団体(子どもの読書推進会議・日
本児童図書出版協会・一般財団法人
出版文化産業振興財団)では、
「入場人数制限・入替制」「検温・
消毒の徹底」など新型コロナウイルス
感染症対策を施したうえで安全
に開催すべく準備を進めてまい

りました。
しかしながら緊急事態宣言の発
出を受けて検討した結果、新型コ
ロナウイルス感染症の収束が未だ
見通せないことから、やむを得ず
中止を決定いたしました。本と読
者の楽しい出合いの場を失ってし
まうことは、主催者はじめ関係者
一同、たいへん残念な思いです。

なお、企画していた講演会など
のイベントにつきましては、同じ



展示会「危機を越え 未来を目指すために
今できること」で受賞社を紹介中

学芸文化賞」は、京都大学学術出
版会と晶文社が受賞した。
なお東京都千代田区の出版クラ
ビビル3階ライブラリーでは、受
賞社を紹介する展示が3月31日ま
で行われている(観覧無料)。



オンライン講演会などを予定しています
(写真は2016年の講演会の模様)

5月3日～5日に、「上野の森親
子ブックフェスタ」を冠したオン
ラインイベントとして形を変えて
実施することいたしました。
準備が整いしだい、ご案内をい
たしますのでどうぞお楽しみに。

本紙巻頭で宮川健郎理事長がご案内された、一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 移転 10周年記念寄付の詳細です。財団のオリジナルキャラクター「イクロちゃん」は、佐々木マキさんのデザインです。

子どもの本と文化を、子どもの未来のために 記念寄付のお願い

私たちの活動に賛同くださる方を募集しています！

IICLO（イクロ、一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団）は、再スタートしてから10年になりました。子どもの本・子どもの文化の振興をめざして、活動を展開してきましたが、財団の経営については、公的な支援は一切受けず、困難な状況が続いています。この状態が続けば、10年後には財団はもう存続できない——私どもスタッフは危機感を強めています。

この危機を抜け出し、子どもの本・子どもの文化の振興にかかわる活動をより豊かにしていくために、財団は広く寄付をお願いいたします。ぜひとも財団の今後の存続可能性を見出したい、財団の新しい10年を創り出したい——それが私どもの思いです。皆様からのご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

IICLO (International Institute for Children's Literature, Osaka) とは  <http://www.iiclo.or.jp/>

1980年に児童文学等児童文化に関する図書その他の資料の収集、保存、活用及び研究ならびに国際交流に係る諸事業を行う財団として設立され、1984年5月5日開館の大阪府立国際児童文学館（吹田市千里万博公園）の運営を2010年3月31日まで行っていた。2010年4月1日より、70万点の所蔵資料は、大阪府立中央図書館国際児童文学館に移転され直営となる。財団は規模を大幅に縮小し、大阪府立中央図書館内に事務所を置き、子どもの読書活動の振興や国際交流、児童文学・児童文化研究や国際児童文学館の資料の寄贈窓口などの事業を行っている。

〒577-0011 大阪府東大阪市荒北1-2-1 大阪府立中央図書館内 TEL: 06-6744-0581 FAX: 06-6744-0582 E-mail: office@iiclo.or.jp
Osaka Prefectural Central Library, 1-2-1, Aramoto-ku, Higashi Osaka-shi, 577-0011, JAPAN

ご寄付の種類



★ **継続寄付** 毎年 または 毎月の寄付を募っております。
※ Syncable(シンカブル)で受け付けます。

★ **単発寄付**

※ 選べるプレゼント! ※

年間1万円以上の寄付をいただいた方にはIICLOグッズをプレゼントします。



ご寄付の方法

◆ クレジットカード (VISA, Mastercard) …… Syncable(シンカブル)の「大阪国際児童文学振興財団」ページ <https://syncable.biz/associate/19800701/>



◆ ゆうちょ銀行 …… 口座番号:00910-8-282098 加入者名:一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

※ 他の金融機関からの振込の場合 …… 店名:〇九九店(ゼロキューキュー店) 店番:099 預金種目:当座 口座番号:0282098

※ 通信欄に、メールアドレスか電話番号をご記入ください。



応援しています!!

(50音順、敬称略)



あまみきみこ (児童文学作家)、あんびるやすこ (作家・日本児童出版美術家連盟理事長)。

今村正樹 (偕成社代表取締役社長)、高合直也 (BL出版代表取締役社長)、川端有子 (児童文学研究者・英語圏児童文学学会会長)。

黒井健 (絵本画家)、酒井京子 (童心社相談役)、さくまゆみこ (翻訳家、日本国際児童図書評議会(JBBY)会長)。

佐々木マキ (絵本作家・マンガ家)、澤田精一 (絵本学会会長)、鳥弘 (日本図書館協会児童青少年委員会委員長)。

代田知子 (埼玉県三芳町立図書館長・日本子どもの本研究会会長)、竹下晴信 (評論社代表取締役社長・日本児童図書出版協会会長)。

竹内オサム (同志社大学教授・当財団評議員)、富安陽子 (児童文学作家・当財団評議員)。

広瀬恒子 (親子読書地域文庫全国連絡会)、藤田のぼる (評論家・日本児童文学者協会理事長)。

松岡孝子 (東京都子ども図書館名誉理事長)、三宅典子 (梅花女子大学名誉教授、当財団特別顧問)。

矢部敬一 (創元社代表取締役社長・当財団評議員)、吉橋通夫 (児童文学作家)

優良読書グループの歩み (2)

2020年度の「読書週間」に際して道府県読書推進運動協議会より推薦され、本会において表彰した全国の優良読書グループの活動報告を掲載いたします。
(順不同)

リーディング倶楽部たんぽぽ

代表者 小松 初恵

北海道紋別郡湧別町

北海道読書推進運動協議会
〈推薦〉

リーディング倶楽部たんぽぽは、1997年、音訳テープづくりから活動をはじめました。現在会員11名で「無理をせず、できる人が、できることを楽しく」をモットーに活動しております。

現在、メインの事業となる湧別小学校での読み聞かせは、1年生から3年生の教室で約15分間、大型絵本、紙芝居なども取り入れた実施。おはなしもナンセンスなものから、行事、戦争や時代にあわせた話まで、多岐にわたります。

たくさんある本のなかからの選書は、楽しくもあり、とてもむずかしいもあります。この読み聞かせは2002年から始まり、今年で19年目になります。初期の参

加者には、もうパパママになった方もいて、自分のお子さんに読んであげているかな? と想像するとうれしくなります。

ほかに定期的な活動として、毎月のブックスタートで4か月の赤ちゃんに絵本を読んでいます。泣かずにじつと絵本を見える4か月児に、私たちが驚いています。また、高齢者サロンでの絵本の読み聞かせも行っています。最初は利用者のみなさんに戸惑いがありました。が、いまでは楽しみにしてくれています。

少し違った活動としては、手芸が得意なメンバーが中心となって本の宅配絵本クラブへ子ども用バッグのプレゼントをしたり、図書館の蔵書を修理しています。きれいになった本が、本棚に並べられるのはうれしいことです。

また、町のお祭りのフリーマーケットに参加し、売上金で湧別小学校へ絵本の寄贈をして7年になります。

私たちが楽しんでしていること

がだれかの役に立っているって、とてもうれしく幸せなことだと思っています。

今後も、子どもたちに元気をもらいながら、楽しく長く、活動を続けていきたいと考えています。そして、絵本は子どものものであって、大人にも、絵本のよさを知っていただけるよう、紹介をしていきたいと思っています。

最後になりましたが、心よく受け入れてくれる先生方、いつもしっかり聞いてくれる子どもたち、活動を後押ししてくれる図書館、そして、いままでいろいろな活動に協力してくれた方々に心から感謝申し上げます。



学校での読み聞かせは19年続いています!

南アルプス市わかき朗読ボランティアはなしんぼ

代表者 平間恵子

山梨県南アルプス市

山梨県公共図書館協会
読書推進研究部会
〈推薦〉

「南アルプス市わかき朗読ボランティア」はなしんぼの活動は、1980年ごろ、視覚障がい者の方に声の広報をお届けすることから、はじまりました。

その後、1992年に社会福祉協議会主催の「録音ボランティア講習会」に参加、終了後に図書館朗読ボランティアとして再編成し、新たに始動しました。その後、も図書館主催の「朗読入門講座」を受講した人が会員となってきました。当初、メンバーは25名ほどでしたが、現在は8名で活動しています。

年3回の図書館朗読会や、年2回の市内の朗読グループとともに開催する朗読会への参加のほか、地域のサロン、施設、小学校での出前朗読会などを実施しています。高齢者、幼児、小学生とさまざまな年齢の方々に、聴いていただくことよって、私たちが勉強をさせていただき、また元気もも



活動の対象は幼児から高齢者までと幅広い

らっています。

地域での活動は、充実感を得ることができ、今後の糧にも、励みにもなっています。微力ながらも、文学の世界と読書の楽しさを広めていく、その一端を担えたら……と思っています。

この活動を通し、仲間や地域のみなさまとともに、楽しく幸せなときを過ごしていきたいと願っています。

実際の活動は以下のとおりです。

●市立図書館主催の朗読会出演

「やすらぎ亭」

「秋のひととき朗読会」

「安藤家住宅でちよつとこわい夏の夜話」

●自主企画はなしんぼ朗読発表会
 ●若草地区ふれあいセンター、デイサービス、小学校などへの出前朗読
 ●市の広報誌、議会だよりなどの録音配達
 ●地域のおまつりなど、行事参加

西伯小学校コミュニティ・スクールどくしよ部

代表者 早田 秀子
 鳥取県西伯郡南都町

〈推薦〉
 鳥取県読書推進運動協議会

西伯小学校では、2007年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を取り入りました。子どもたちが本好きになり、心豊かに育ってほしいという私たちの願いや思いから、学校支援の取組のひとつとして、「どくしよ」部が誕生しました。

地域のたくさんの読書ボランティアの協力や支援のもと、できるときに、できる人が無理なく楽しく活動することをモットーに、おもに学校図書館の掲示物作成や本の修理など読書環境を整えたり、読書集や町の読書まつりに協力したり、朝読書の読み聞かせ

をしたりと、学校の要望に応え、ときには自主的に活動してきました。

特に読み聞かせは年々協力してくださる方が増え、発足当時に比べずいぶん人数が多くなりました。これまでに40人以上の方が学校で読み聞かせをしています。子どもと絵本の世界を共有し共感することができる木曜日の朝読書の10分間は、私たちボランティアにとって日々の生活のなかで元気がでる心地よいひとときです。

「どくしよ」部としては、少人数の決まったボランティアだけで読み聞かせをするよりも、より多くの人に参加してもらいたいと考えています。多くの地域の人が学校

に来ることで、子どもたちのことや学校のことを知ってもらいたいと思っています。

100人のボランティアが読み聞かせをすれば、いろいろなジャンルの100冊の本に出会うことができます。ひとりが100冊読むより、100人が100種類の本を読むことが、子どもたちの本の世界を広げ、興味関心のはばを広げることができます。子どもたちには、地域の方の読み聞かせをおして、本を好きになることはもちろん、読んでくれる地域の人や地域を好きになつてほしいです。

朝読書が心豊かな育ちにつながったらいなあと、日々願いながら、私たちは読み聞かせを楽しんでいます。

おはなしひろば

代表者 山口美智子
 大分県国東市

〈推薦〉
 大分県読書推進運動協議会

読み聞かせグループ「おはなしひろば」は、いまから18年前、学校完全5日制が実施された2002年、社会教育の取組の一環として、当時の国見図書館の和

室で毎週土曜日に読み聞かせを開催したのがはじまりです。スタート時の会員は、小学校教諭を退職した先生と読み聞かせの趣旨に賛同した地域の方の計3名でした。会員の変動はありましたが、毎年5〜6名が登録しています。スタート時から会員もひとりいます。場所は図書館だけでなく各小学校区の改善センター、そして保育所へと時代のニーズとも少し変わってきました。

活動内容としては、国見図書館と町内2か所の保育所での読み聞かせ、乳幼児健診時(4・5か月および1歳半)におけるブックスタートでの読み聞かせが、おもなものですね。町内小学校の朝の読書時間や平和授業、幼稚園での読み聞かせに出向くこともあります。

読み聞かせ活動は、本選びのときからはじまります。テーマがわかりやすく絵が生きてきているか、子どもの発達段階にあっているか、絵と文のバランスはよいか、ことばの美しさやリズム感・季節感があるかなどを考慮しながら、本を選びます。そして、本の持ち方やページをめくり方にも気をつけながら声を出して下読みを何回もします。

読み聞かせ当日、いよいよ子どもたちと本のご対面。あいさつをして、子どもたちの前に本の表紙を見せると、題名を読んだり、声を出して指を指ししめしてくれたりして意思表示してくれます。そして、ゆっくり、はつきりとした声で読み進めていきます。物語を読むときはには、集中が途切れないように途中の問いかけはなるべくせず、子どもたちの表情を見るように心がけています。そして、読み終わったあとの子どもたちの驚きや喜びや感動の声には、しっかりと耳を傾けたいと思っています。

保育所での読み聞かせは30分ほどですが、玄関を入るといつも笑顔で迎えてくれ、玄関を出るときには「また来てね」と姿が見えなくなるまで手を振って見送ってくれます。私たちが子どもたちから、元氣と幸せをもらう時間です。

いまはコロナ禍で読み聞かせができませんが、再開したら子どもたちにたくさんおはなしを届けながら、私たち自身も読み聞かせを楽しんでいきたいと思ひます。また、読み聞かせ研修会などにも積極的に出かけて、他団体との交流やスキルアップに努めたいと思ひます。



子どもたちには本を、大人たちには学校を知ってもらいたい

紙芝居文化の会

紙芝居の演じ方ガイドを
パラパラ小冊子で

紙芝居文化の会では、はじめて紙芝居を演じる人や、子どもが自分で演じるためのガイドとなる小冊子、「紙芝居の演じかた くこどもむけ」のPDFデータを、同会ホームページに掲載している。

PDFデータはA4用紙1ページ。折りや切り目を入れて冊子の形にする。作り方はホームページに紹介されており、データには折

る位置のガイド線も入っているので簡単に作る事ができる。

また、同会では海外にも紙芝居の魅力を知ってもらいたいと、この小冊子データも、英語・フランス語・スペイン語・ドイツ語・中国語・スロベニア語の6つの言語版を用意。こちらもホームページよりダウンロード可能。多文化多言語の紙芝居イベントの開催にも活用できる。



まついのりこさんのイラストで演じ方のポイントを紹介

NPOブックスタート

3月に中川ひろたかさんの
オンライン講演会を開催!

NPOブックスタートは、3月7日(日)14時~15時50分に、Zoomによるオンライン講演会「子ども・社会を考えるシリーズ『こども・えほん・うたのこと』をライブ配信する。講師は中川ひろたかさん(シンガーソングライター)。

日本で最初の男性保育士として保育園に勤務した経歴を持つ中川さんが、保育の日々を感じた「子どもと絵本と歌」についてたっぶりと語る。オンライン講演会だが、途中で休憩が入る予定。参加には事前の申し込みが必要(参加定員なし、参加費無料)。申込期間は3月4日(木)12時までとなっている。申込者には開催の前に視聴用URLが送られる。

また、講演会はライブ配信終了後、3月31日(水)までNPOブックスタートのYouTubeチャンネルで視聴が可能。



NPOブックスタートホームページ QRコードと講演会チラシ

紙芝居文化の会ホームページ

https://www.kamishibai-ikaja.com (講座情報なども随時、紹介されています)

NPOブックスタート

ホームページ https://www.bookstart.or.jp/

事務局報告(1月)

- ☆6日「機関紙『読書推進運動』638号 入稿
- ・6日「書店新風会の「第55回 新風賞 贈賞式」に出席
- ☆7日「機関紙『読書推進運動』638号 専了
- ・12日「子どもの読書推進会議 2020年度第2回 幹事会」開催
- ・14日「上野の森親子ブックフェスタ」運営委員会出席
- ・15日「文部科学省「子ども読書の日」ポスター入稿
- ☆19日「第63回 こどもの読書週間」ポスター原画借用
- ・19日「子ども読書の日」ポスター初校について、とよたかずひこさん、プラス・アイと打ちあわせ
- ・21日「上野の森親子ブックフェスタ」運営委員会出席
- ・21日「子ども読書の日」ポスター再校について、とよたかずひこさんと打ちあわせ
- ☆22日「事務局内サーバー入れ替え作業
- ☆22日「新型コロナウイルス感染症対策のため、26日開催予定の2020年度 第4回 読書推進委員会を中止、報告書の発送をもって代替
- ・27日「上野の森親子ブックフェスタ」運営委員会出席。2021年度はリアルイベントとしての開催中止を決定
- ☆28日「第63回 こどもの読書週間」ポスター原画スキャンデータ出来
- ☆29日「第63回 こどもの読書週間」ポスター入稿

編集部&事務局の
ひとこと

●1月半ば、これまで使用していたサーバー兼事務局内共有ハードディスクのサーバーの終了に備え、新サーバーへの入れ替えとネットワークの再構築を済ませました。

●数年前から「いずれはやらねば」とわかってはいましたが、事務局の引越越し、「全国読書グループ調査」の実施が続く、延び延びしていたら、ついにタイムリミット寸前。昨年の野間読書推進賞贈呈式が終わったところから本格的に始動、新サービスでのホームページ作動の確認、共有ハードディスクからのファイルの移動が終わったところで、エンジニアが接続を切り替え、新サーバーへ移行しました。スタッフ自宅からのメール送受信、共有フォルダアクセスも可能となり、在宅勤務環境もいままさらですが、前進です。

●今回はメールとホームページのアドレス変更はありませんでしたが、新規のアドレスや各種サービスのログインIDを決めるのは毎回、緊張します。そのためか、個人からいただくメールのアドレスから、あれこれ考えるのが密かかな楽しみです(同好の士、いますよね)。本に関係ある仕事をしている人からのメールが多いせいいか、作品タイトルやキャラクター名の入ったアドレスとの遭遇することもしょっちゅう。自分の好きな作品名だと親近感がさらに増し、「そのキャラクターが推しなのか」と相手の意外な面を知ること。かくいう私自身、ケータイのメールアドレスは愛読書由来の長いものとなっています。(伸)